



「川中生らしさ」を示す～小中交流授業参観

5月29日(金)に、小中交流授業参観がありました。これは、川崎小学校の先生方や川崎地区学校運営支援協議会委員の方々が中学校の授業を参観するイベントで、毎年開催されているものです。

1年生は中学校に入学してからの現状を、2・3年生は中学生としての授業の様子を見ていただきました。授業参観前には、「そのときだけ立派にしなくてもいいですよ。『普段の川中生らしく』授業に臨んでください。」と話していました。さて、どんな授業参観だったのでしょうか？

授業参観後には、小学校の先生方から、「数カ月しか経っていないのに、すっかり中学生の顔になっていて、びっくりしました。」「さすが中学生！と感じました。学びに一生懸命取り組む姿を見ることができて、嬉しくなりました。」「上級生のコミュニケーション力の高さを、川中リーダーとしての風格を感じました。」と感想をいただきました。委員の方々からは、「大人になっていて、感動した。」「相手に対する優しさが見えたところがいくつもあった。素晴らしい。」と言っていました。

「川中生」という部分についても、「今日の皆さんの姿を見て、素晴らしい中学校であることが伝わってきました。」「授業態度は一関No.1だと思いました。」「川崎中の生徒であることに自信を持って頑張ってください！」と称賛と激励をいただきました。

「川中生らしさ」って何だろう？それは、参観した方々からいただいた、これらのメッセージに表れています。私も、皆さんが「普段の川中生」をしっかりと示すことができたかと嬉しく思っています。



令和8年度生徒会スローガン 『RISE～主体性が導く さらなる飛躍～』

6月3日(水)には、生徒総会が開催されました。今年度の生徒会スローガンはRISE(ライズ)。「昇る」、「飛躍する」という意味があります。「生徒の主体性によって、自分を、仲間を、全校を導いて、さらに飛躍していこう」という思いが込められています。

生徒総会の議事では、たくさんの質問・意見が出ました。生徒会事務局からの提案を、「自分事」として捉え、考えている姿勢が表れていました。代替案も出るなど、総会の持ち方の質も上がってきています。とても落ち着いた雰囲気の中で総会に臨む姿は、これからのさらなる成長を期待させるものでした。

良いことばかりではありません。生徒会事務局から「今の状況はどうですか？」と問いかけがあった時には、正直に課題を答えようとしていました。課題は課題として認め、改善しようと意識するのはとても大切なことです。

生徒会事務局や」委員会は、生徒総会を行うために、たくさん準備してきたこと

思います。その準備が、今回のよい生徒総会を創ったのだと考えます。

最初の校長あいさつで、こう話しました。「みんなで決めたことは、みんなで守る。」これを実践するのが生徒会だと思います。みなさんが生徒総会を経て、一人ひとりが主体性を持って輝き、ますます飛躍することを楽しみにしています。



Voice ～心に響いた声～ 5月23日に川崎小学校で運動会が行われまし

たが、「運動会後に川中3年生が後片付けを一生懸命手伝ってくれた」と小学校から感謝の連絡をいただきました。誇らしい行動、さすが川中生です。